

景況調査報告書

徳島県商工会議所連合会の景況調査結果について、次のとおり報告します。

1. 調査時点 令和4年3月31日
2. 調査対象時期 令和3年度 第4四半期
3. 調査対象数及び回収状況

地域	項目	調査対象数(社)	回収数(社)	回収率
徳島		130	95	73.1%
鳴門		55	48	87.3%
小松島		30	29	96.7%
吉野川		30	25	83.3%
阿波池田		25	21	84.0%
阿南		36	36	100.0%
合計		306	254	83.0%

業種	調査対象数(社)	回収数(社)
建設業	35	29
製造業	69	59
卸売業	47	38
小売業	91	72
サービス業	64	56

4. 概況

今期の県内景況は前年同期と比較して、売上、売上単価、売上数量、受注、収益はいずれも悪化となっており、仕入単価の上昇、需要の停滞、売上数量の減少等により、全体的に悪化が続いている。

①売上の動向

売上については、前期D I 値と比べ12.2ポイント悪化しており、前年同期の比較では、総合工事業、食料品製造業、木材・木製品製造業で増加となったほかは、全ての業種では減少となっている。

②売上単価の動向

売上単価については、木材・木製品製造業、繊維・衣服等卸売業、機械器具卸売業、自動車小売業で増加、機械・金属製品製造業、建築材料、鉱物・金属材料卸売業、運輸業、情報関連サービス業で横ばいとなり、その他の業種では減少となっている。

③売上数量の動向

売上数量については、木材・木製品製造業で増加、職別・設備工事業、宿泊業で横ばいとなったほかは、全ての業種では減少となっている。

※来期の売上

来期の売上については、繊維・衣服等卸売業、機械器具卸売業、宿泊業、飲食店、運輸業で増加の見込みとなったほかは、その他の業種では減少を見込んでおり、全体における来期売上高予想のD I 値は△7.5ポイントとなっている。

④受注の動向

受注（製造業、建設業のみ）については、食料品製造業、木材・木製品製造業で増加となったほかは、全ての業種で減少となっている。来期の受注については、全ての業種で減少を見込んでいる。

⑤収益の動向

収益については前期D I 値と比べ7. 6ポイント悪化しており、食料品製造業で増益、木材・木製品製造業で横ばいとなったほかは、減益となっている。

来期の収益については、繊維・衣服等卸売業、機械器具卸売業、宿泊業で増益、飲食店で横ばいを予想しているものの、その他の業種では減益を見込んでおり、収益予想のD I 値は△21. 7となっている。

⑥設備投資の動向

設備投資については20. 9%の企業が実施しており、職別・設備工事業が46. 7%、自動車小売業が42. 9%、機械器具卸売業、運輸業がともに33. 3%の順に多かった。

内容については、情報通信機器が27. 0%、車両運搬具が21. 6%、機械が18. 9%の順となっている。投資額は、100万円以上500万円未満が33. 3%、1000万円以上が21. 6%、50万円未満が19. 6%の順となった。

⑦資金繰りの動向

資金繰りについては、情報関連サービス業で好転、職別・設備工事業、木材・木製品製造業で横ばいとなり、その他の業種では悪化となっている。

来期の資金繰りについては、情報関連サービス業で好転、機械器具卸売業で横ばいとなるほかは、悪化を予想している。

⑧雇用の動向

雇用人員については、総合工事業、機械・金属製品製造業、機械器具小売業、情報関連サービス業で増員、職別・設備工事業、木材・木製品製造業、繊維・衣服等卸売業、自動車小売業、飲食店で横ばいとなり、その他の業種では減員となっている。

来期の雇用人員については、総合工事業、機械・金属製品製造業、繊維・衣服等卸売業、建築材料、鉱物・金属材料卸売業、織物・衣服・身の回り品小売業、飲食料品小売業、自動車小売業、宿泊業、飲食店、運輸業、情報関連サービス業で増員、職別・設備工事業、食料品製造業、木材・木製品製造業、家具・装備品製造業、機械器具卸売業、コンビニエンスストアで横ばいとなるほかは、減員を予想している。

⑨前期における今期の業績見通しとの比較

前期における今期の業績見通しとの比較については、食料品製造業、木材・木製品製造業で見通しより良く、職別・設備工事業、家具・装備品製造業で見通し通りだった以外は、見通しより悪かったとしている。

⑩業況見通し

来期の業況見通しについては、宿泊業、飲食店で好転、繊維・衣服等卸売業、情報関連サービス業で横ばいとなる以外は、全ての業種で悪化を予想している。

地域別では、徳島、鳴門、小松島、吉野川、阿波池田、阿南の全ての地域で悪化となった。

自由回答では、「容器、包装資材などの値上げ通告があり、2, 3か月後には値上げの影響が出てくるだろう」(食料品製造業)、「仕入単価の上昇と資材不足がコスト増加につながっている」(機械器具卸売業)など、仕入単価の上昇で収益悪化を懸念する声や、「コロナが収まらないと集客は見込めない。どこまで経営を維持できるのか不安だ」(宿泊業)、「コロナの影響で先行きが見えない」(織物・衣服・身の回り品小売業)といった長く続く新型コロナウイルス感染症により経営状況を不安視する声などが聞かれた。

また、事業承継の取り組み状況について尋ねたところ、回答のあった254社のうち、「すでに後継者または候補が決まっている(親族・役員・従業員など)」、「いずれは必要だと思うがまだ決まっていない」がともに68社、「わからない(未定)」が50社、「事業承継を考えていない」が42社であった。続いて、上記設問で「いずれは必要だと思うがまだ決まっていない」と回答した68社に事業承継について相談する相手がいるかと尋ねたところ、「いる」が41社、「いない」が22社となり、さらに「いる」と回答した事業者に対しその相手は誰かと尋ねたところ、「商工会議所職員」が24件と最も多く、次いで「金融機関」が16件、「顧問税理士」が15件、「公的機関」が10件、「その他」が4件であった。続いて、前述の事業承継の取り組み状況を問う設問において「事業承継を考えていない」と回答した42社にその理由を尋ねたところ、「経営状況が良くないので継がせられない」が16件、「後継者がいない」、「事業承継する意思がない」がともに13件、「その他」が11件であった。(回答数はいずれも無記入を除く全産業合計。一部、複数回答可の設問を含む。)

①売上動向（前期実績・今期実績は前年同期との比較、来期予想は今期との比較）

	増加 (%)	変わらない (%)	減少 (%)	D I 値
前期 (10～12 月期) 実績	21.1	43.3	35.6	△14.6
今期 (1～3 月期) 実績	16.1	40.9	42.9	△26.8
来期 (4～6 月期) 予想	19.8	53.0	27.3	△7.5

②売上単価動向（前期実績・今期実績は前年同期との比較）

	増加 (%)	変わらない (%)	減少 (%)	D I 値
前期 (10～12 月期) 実績	15.0	62.8	22.3	△7.3
今期 (1～3 月期) 実績	11.4	63.0	25.6	△14.2

③売上数量動向（前期実績・今期実績は前年同期との比較）

	増加 (%)	変わらない (%)	減少 (%)	D I 値
前期 (10～12 月期) 実績	23.1	41.7	35.2	△12.1
今期 (1～3 月期) 実績	13.0	44.1	42.9	△29.9

④受注動向（建設業、製造業のみ）

（前期実績・今期実績は前年同期との比較、来期予想は今期との比較）

	増加 (%)	変わらない (%)	減少 (%)	D I 値
前期 (10～12 月期) 実績	20.0	46.7	33.3	△13.3
今期 (1～3 月期) 実績	20.4	46.2	33.3	△12.9
来期 (4～6 月期) 予想	9.6	56.4	34.0	△24.5

⑤収益動向（前期実績・今期実績は前年同期との比較、来期予想は今期との比較）

	好転 (%)	変わらない (%)	悪化 (%)	D I 値
前期 (10～12 月期) 実績	13.1	52.5	34.4	△21.3
今期 (1～3 月期) 実績	9.1	53.0	37.9	△28.9
来期 (4～6 月期) 予想	10.7	56.9	32.4	△21.7

⑥在庫動向（前期実績・今期実績は前年同期との比較）

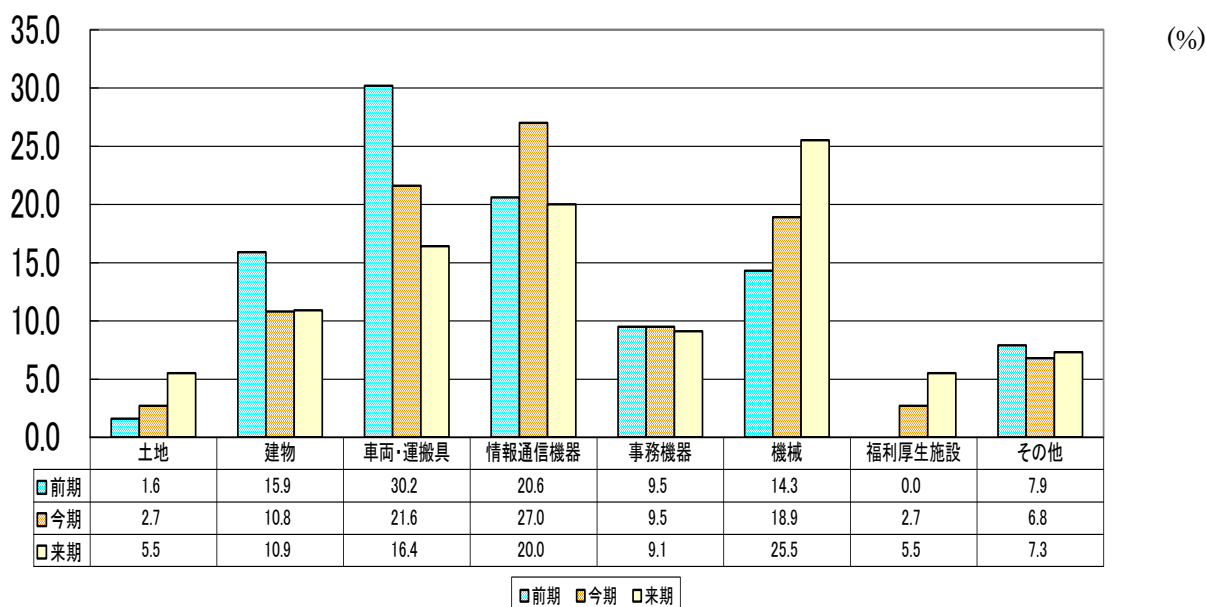
	不足 (%)	適正 (%)	過大 (%)	該当なし (%)
前期 (10～12 月期) 実績	8.1	68.8	18.1	5.0
今期 (1～3 月期) 実績	10.2	66.3	18.7	4.8

⑦設備投資動向

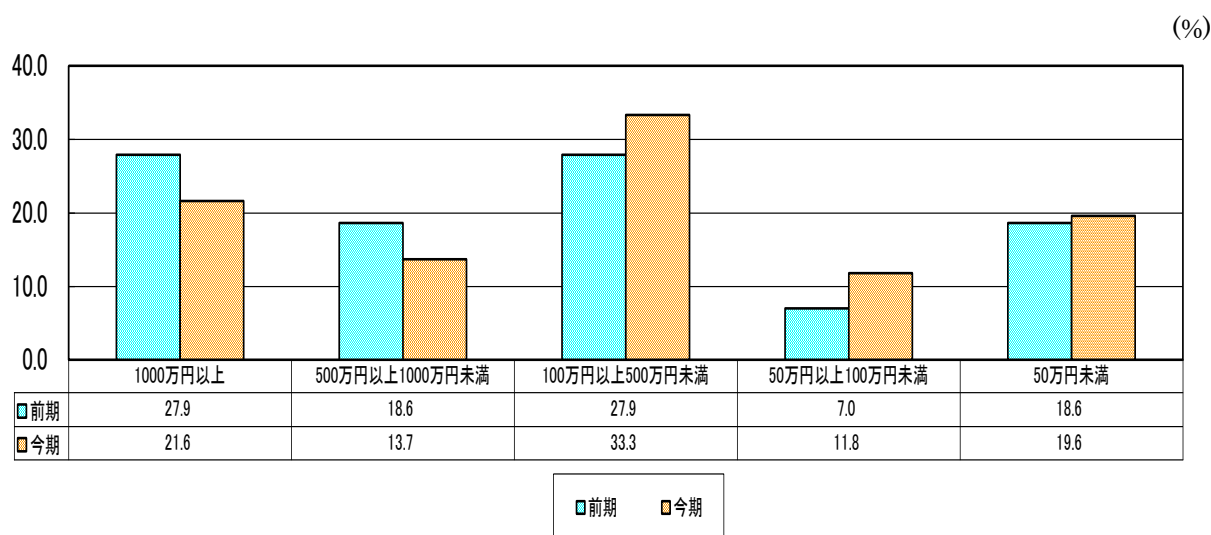
(1) 実施状況

	実施した (%)	実施していない (%)
前期 (10～12 月期) 実績	18.1	81.9
今期 (1～3 月期) 実績	20.9	79.1
来期 (4～6 月期) 予想	15.0	85.0

(2) 実施内容 (今期実施企業中)



(3) 実施金額の内訳 (今期実施企業中)



⑧ 資金繰りの動向 (前期実績・今期実績は前年同期との比較、来期予想は今期との比較)

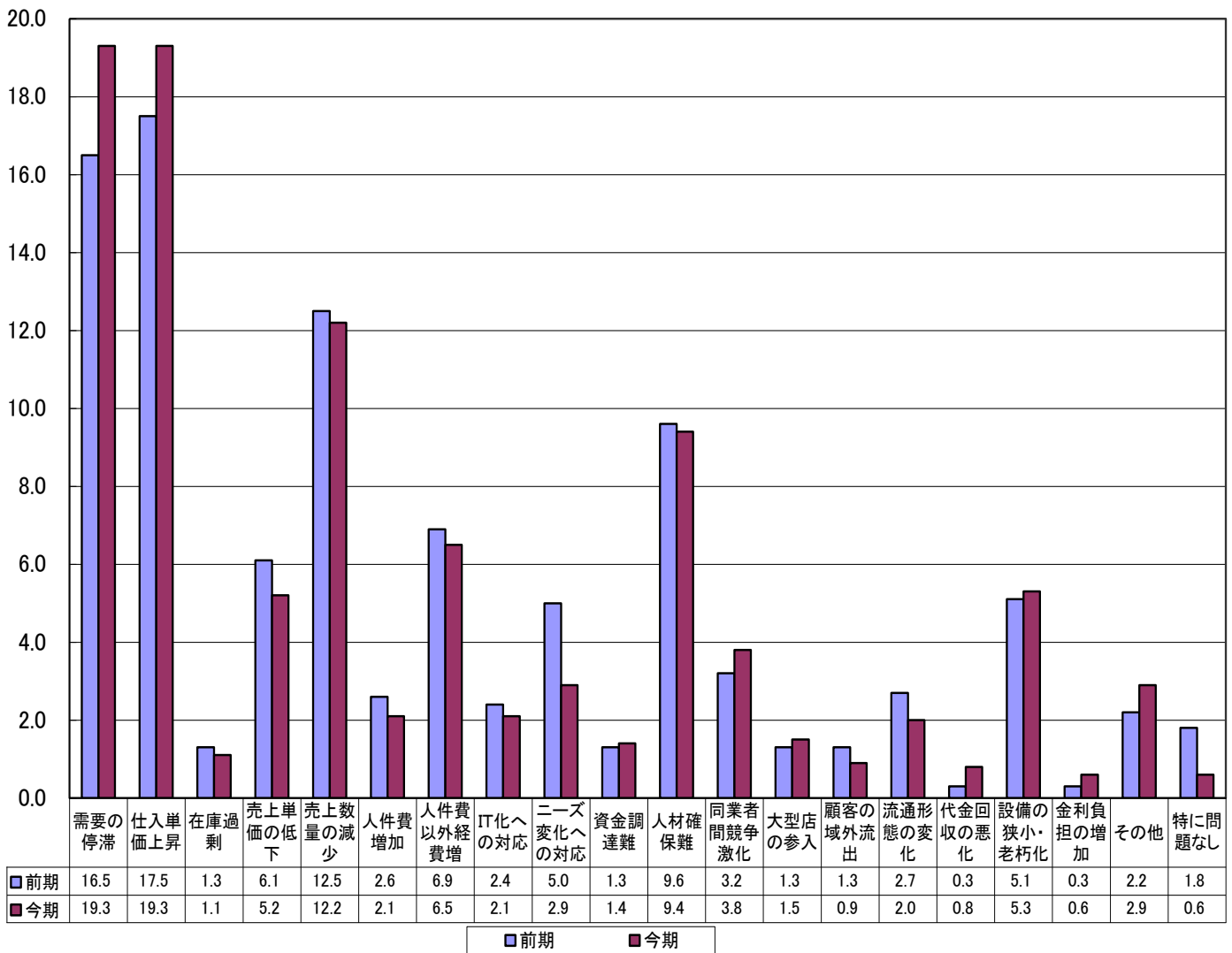
	好転 (%)	変わらない (%)	悪化 (%)	D I 値
前期 (10~12 月期) 実績	4.5	76.0	19.5	△15.0
今期 (1~3 月期) 実績	3.1	67.7	29.1	△26.0
来期 (4~6 月期) 予想	3.9	75.2	20.9	△16.9

⑨ 雇用の動向 (前期実績・今期実績は前年同期との比較、来期予想は今期との比較)

	増員 (%)	変わらない (%)	減員 (%)	D I 値
前期 (10~12 月期) 実績	4.5	84.1	11.4	△6.9
今期 (1~3 月期) 実績	7.6	79.7	12.7	△5.2
来期 (4~6 月期) 予想	10.8	85.7	3.6	7.2

⑩経営上の問題点（複数回答：3つまで）

(%)



⑪前期における今期の業績見通しとの比較

	良い (%)	変わらない (%)	悪い (%)	D I 値
前期（10～12月期）実績	9.8	67.3	22.9	△13.1
今期（1～3月期）実績	7.9	61.0	31.1	△23.2

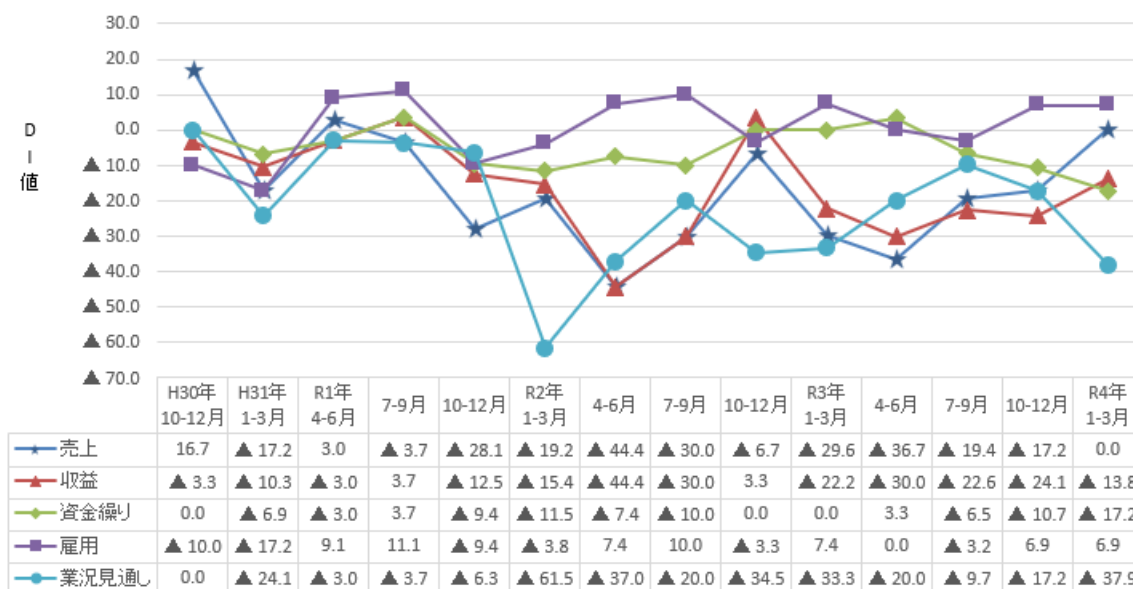
⑫業況見通し

	好転 (%)	変わらない (%)	悪化 (%)	D I 値
前期（10～12月期）実績	8.2	60.2	31.6	△23.4
今期（1～3月期）実績	11.0	57.9	31.1	△20.1

■業種別の動向

I. 建設業

【建設業の主要項目動向】



※（ ）内は前期値

前年同期に比べ、売上は27.6%（31.0%）の企業が減少とし、DI 0.0（△17.2）ポイント、受注は37.0%（40.7%）の企業が減少とし、DI △14.8（△22.2）ポイント、収益は31.0%（31.0%）の企業が減少とし、DI △13.8（△24.1）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、DI △6.9（△6.9）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が25.7%、人材の確保難が21.6%、設備の狭小・老朽化が10.8%の順に多かった。

来期、売上、受注、収益はいずれも減少・減益になるとしており、来期の業況予想のDIは△37.9（△17.2）ポイントとなっている。

I-1 総合工事業

前年同期に比べ、売上はDI 14.3（△26.7）ポイント、受注はDI △7.1（△53.3）ポイント、収益はDI △21.4（△40.0）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、DI △14.3（△20.0）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇、人材の確保難がともに22.2%、設備の狭小・老朽化が19.4%、需要の停滞が8.3%の順に多かった。

来期、売上、受注、収益はいずれも減少・減益になるとしており、来期の業況予想のDIは△42.9（△33.3）ポイントとなっている。

I-2 職別・設備工事業

前年同期に比べ、売上はDI △13.3（△7.1）ポイント、受注はDI △23.1（16.7）ポイント、収益はDI △6.7（△7.1）ポイントとなっている。

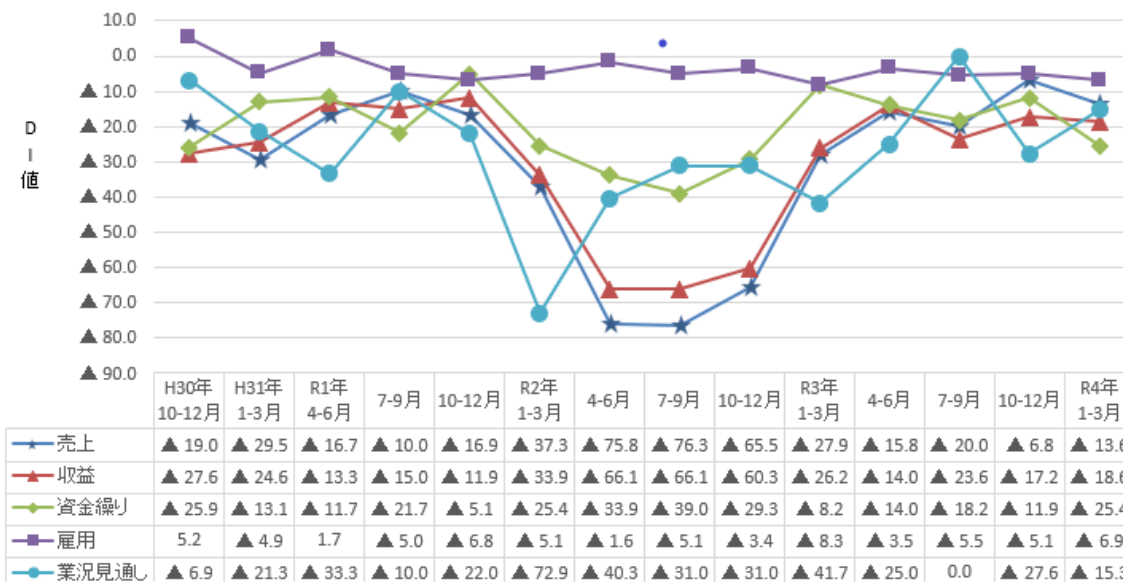
前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、DI 0.0（7.1）ポイントとなり見通し通りだったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が28.9%、人材の確保難が21.1%、売上数量の減少が10.5%の順に多かった。

来期、売上、受注、収益はいずれも減少・減益になるとしており、来期の業況予想のDIは△33.3（0.0）ポイントとなっている。

II. 製造業

【製造業の主要項目動向】



前年同期に比べ、売上は33.9%（30.5%）の企業が減少とし、DI△13.6（△6.8）ポイント、受注は26.8%（28.6%）の企業が減少とし、DI△5.4（△7.1）ポイント、収益は32.2%（27.6%）の企業が減少とし、DI△18.6（△17.2）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、DI△11.9（△17.2）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が24.8%、需要の停滞が17.2%、売上数量の減少が12.1%の順に多かった。

来期、売上、受注、収益はいずれも減少・減益になるとしており、来期の業況予想のDIは△15.3（△27.6）ポイントとなっている。

II-1 食料品製造業

前年同期に比べ、売上はDI 7.1（△15.4）ポイント、受注はDI 18.2（△25.0）ポイント、収益はDI 7.1（△53.8）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、DI 7.1（△15.4）ポイントとなり見通しより良かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が32.5%、人件費以外の経費増加が12.5%、人材の確保難が10.0%の順に多かった。

来期、売上、受注、収益はいずれも減少・減益になるとしており、来期の業況予想のDIは△14.3（△38.5）ポイントとなっている。

II-2 繊維工業

前年同期に比べ、売上はDI△50.0（△66.7）ポイント、受注はDI△16.7（△66.7）ポイント、収益はDI△50.0（△50.0）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、DI△33.3（△33.3）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、需要の停滞が23.5%、仕入単価の上昇、売上数量の減少、人件費の増加、人件費以外の経費増加、設備の狭小・老朽化がいずれも11.8%、売上単価の低下、人材の確保難、代金の回収難がいずれも5.9%の順となった。

来期、売上、受注、収益はいずれも減少・減益になるとしており、来期の業況予想のDIは△33.3（△33.3）ポイントとなっている。

Ⅱ－３木材・木製品製造業

前年同期に比べ、売上はD I 30.0 (0.0) ポイント、受注はD I 30.0 (11.1) ポイント、収益はD I 0.0 (10.0) ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、D I 10.0 (20.0) ポイントとなり見通しより良かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が30.8%、需要の停滞が15.4%、売上数量の減少、人材の確保難がともに7.7%の順に多かった。

来期、売上、受注、収益はいずれも減少・減益になるとしており、来期の業況予想のD Iは△20.0 (△30.0) ポイントとなっている。

Ⅱ－４家具・装備品製造業

前年同期に比べ、売上はD I △44.4 (△11.1) ポイント、受注はD I △44.4 (△33.3) ポイント、収益はD I △55.6 (△22.2) ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、D I 0.0 (△25.0) ポイントとなり見通し通りだったとなっている。

経営上の問題点は、需要の停滞が29.2%、売上数量の減少が25.0%、仕入単価の上昇が16.7%の順に多かった。

来期、売上、受注、収益はいずれも減少・減益になるとしており、来期の業況予想のD Iは△22.2 (△25.0) ポイントとなっている。

Ⅱ－５機械・金属製品製造業

前年同期に比べ、売上はD I △25.0 (0.0) ポイント、受注はD I △12.5 (12.5) ポイント、収益はD I △25.0 (△11.1) ポイントとなっている。

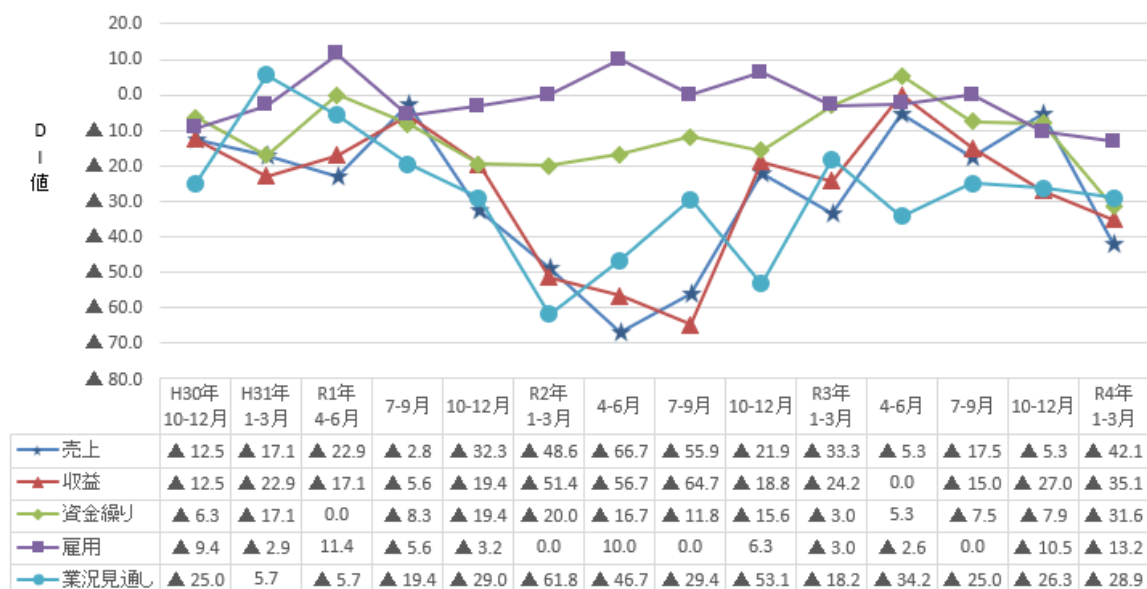
前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、D I △50.0 (△44.4) ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が25.0%、需要の停滞が20.0%、売上数量の減少が15.0%の順に多かった。

来期、売上、受注、収益はいずれも減少・減益になるとしており、来期の業況予想のD Iは△12.5 (△22.2) ポイントとなっている。

Ⅲ. 卸売業

【卸売業の主要項目動向】



前年同期に比べ、売上は57.9%（34.2%）の企業が減少とし、DI△42.1（△5.3）ポイント、収益は43.2%（40.5%）の企業が減少とし、DI△35.1（△27.0）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、DI△23.7（△13.2）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が26.0%、売上数量の減少が16.0%、需要の停滞が15.0%の順に多かった。

来期、売上は増加、収益は減益になるとしており、来期の業況予想のDIは△28.9（△26.3）ポイントとなっている。

Ⅲ-1 繊維・衣服等卸売業

前年同期に比べ、売上はDI△50.0（0.0）ポイント、収益はDI△25.0（0.0）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、DI△25.0（0.0）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、需要の停滞、仕入単価の上昇、売上数量の減少、同業者間の競争激化がいずれも16.7%、IT化への対応、人材の確保難、流通形態の変化（インターネット販売含む）、設備の狭小・老朽化がいずれも8.3%であった。

来期、売上、収益はともに増加・増益になるとしており、来期の業況予想のDIは0.0（△100.0）ポイントとなっている。

Ⅲ-2 飲食料品卸売業

前年同期に比べ、売上はDI△70.0（△40.0）ポイント、収益はDI△70.0（△40.0）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、DI△40.0（△40.0）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が25.9%、売上数量の減少が22.2%、需要の停滞が18.5%の順に多かった。

来期、売上、収益はともに減少・減益になるとしており、来期の業況予想のDIは△40.0（△40.0）ポイントとなっている。

Ⅲ-3 建築材料、鉱物・金属材料卸売業

前年同期に比べ、売上はD I △ 36. 4 (△ 9. 1) ポイント、収益はD I △ 30. 0 (△ 27. 3) ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、D I △ 27. 3 (9. 1) ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が29. 6%、需要の停滞、売上数量の減少がともに14. 8%、人件費以外の経費増加が11. 1%の順に多かった。

来期、売上、収益はともに減少・減益になるとしており、来期の業況予想のD I は△ 27. 3 (△ 18. 2) ポイントとなっている。

Ⅲ-4 機械器具卸売業

前年同期に比べ、売上はD I △ 33. 3 (28. 6) ポイント、収益はD I △ 33. 3 (△ 14. 3) ポイントとなっている。

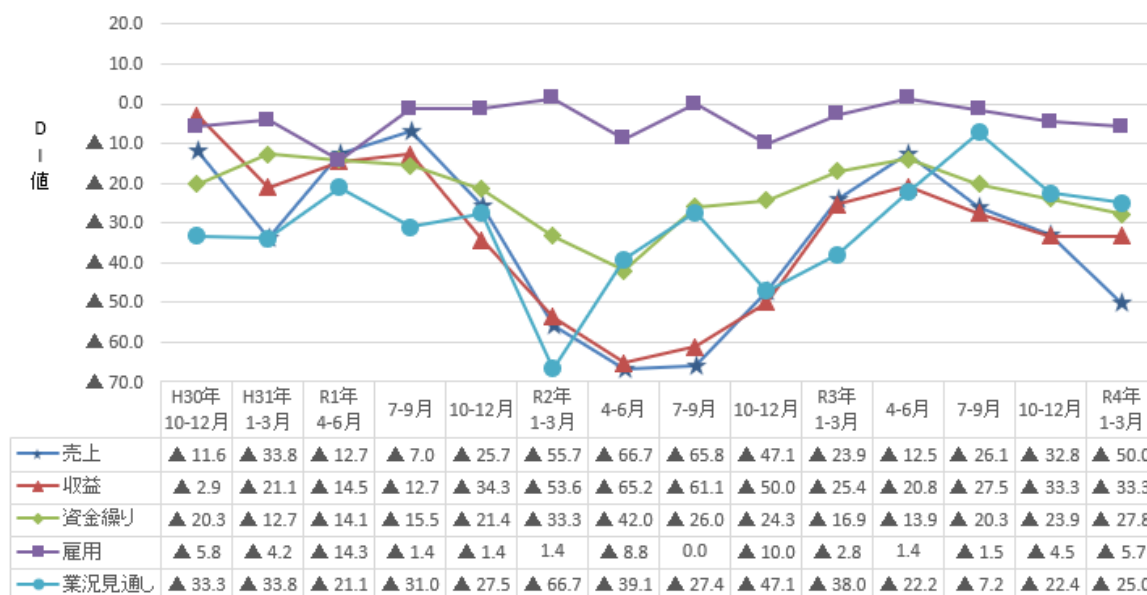
前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、D I △ 16. 7 (△ 14. 3) ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が29. 4%、人材の確保難が17. 6%、需要の停滞が11. 8%であった。

来期、売上、収益はともに増加・増益になるとしており、来期の業況予想のD I は△ 33. 3 (△ 28. 6) ポイントとなっている。

IV. 小売業

【小売業の主要項目動向】



前年同期に比べ、売上は55.6%（44.8%）の企業が減少とし、DI△50.0（△32.8）ポイント、収益は37.5%（43.9%）の企業が減少とし、DI△33.3（△33.3）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、DI△31.9（△19.4）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、需要の停滞が23.9%、売上数量の減少が15.8%、仕入単価の上昇が10.9%の順に多かった。

来期、売上、収益はともに減少・減益になるとしており、来期の業況予想のDIは△25.0（△22.4）ポイントとなっている。

IV-1 織物・衣服・身の回り品小売業

前年同期に比べ、売上はDI△52.2（△30.0）ポイント、収益はDI△30.4（△30.0）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、DI△43.5（△40.0）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、需要の停滞が27.1%、売上数量の減少が18.6%、売上単価の低下が10.2%の順に多かった。

来期、売上、収益はともに減少・減益になるとしており、来期の業況予想のDIは△26.1（△50.0）ポイントとなっている。

IV-2 飲食料品小売業

前年同期に比べ、売上はDI△35.3（△11.8）ポイント、収益はDI△35.3（△17.6）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、DI△5.9（17.6）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、需要の停滞が20.5%、仕入単価の上昇、売上数量の減少がともに15.9%、人材の確保難が9.1%の順に多かった。

来期、売上、収益はともに減少・減益になるとしており、来期の業況予想のDIは△23.5（△17.6）ポイントとなっている。

IV-3 機械器具小売業

前年同期に比べ、売上はD I $\Delta 66.7$ ($\Delta 44.4$) ポイント、収益はD I $\Delta 33.3$ ($\Delta 37.5$) ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、D I $\Delta 33.3$ ($\Delta 22.2$) ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、需要の停滞、売上数量の減少がともに20.8%、売上単価の低下が16.7%、仕入単価の上昇、流通形態の変化（インターネット販売を含む）がともに8.3%だった。

来期、売上、収益はともに減少・減益になるとしており、来期の業況予想のD Iは $\Delta 22.2$ ($\Delta 22.2$) ポイントとなっている。

IV-4 自動車小売業

前年同期に比べ、売上はD I $\Delta 71.4$ ($\Delta 100.0$) ポイント、収益はD I $\Delta 57.1$ ($\Delta 66.7$) ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、D I $\Delta 28.6$ ($\Delta 50.0$) ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、需要の停滞が26.7%、売上数量の減少が13.3%、仕入単価の上昇、売上単価の低下、人件費以外の経費増加、人材の確保難、同業者間の競争激化、設備の狭小・老朽化がいずれも6.7%だった。

来期、売上、収益はともに減少・減益になるとしており、来期の業況予想のD Iは $\Delta 14.3$ ($\Delta 50.0$) ポイントとなっている。

IV-5 コンビニエンスストア

前年同期に比べ、売上はD I $\Delta 25.0$ ($\Delta 25.0$) ポイント、収益はD I $\Delta 50.0$ ($\Delta 50.0$) ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、D I $\Delta 50.0$ ($\Delta 50.0$) ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、売上単価の低下、人件費以外の経費増加がともに20.0%、需要の停滞、仕入単価の上昇、売上数量の減少、人件費の増加、人材の確保難、同業者間の競争激化がいずれも10.0%だった。

来期、売上、収益はともに減少・減益になるとしており、来期の業況予想のD Iは $\Delta 75.0$ (0.0) ポイントとなっている。

V. サービス業その他

【サービス業の主要項目動向】



前年同期に比べ、売上は33.9%（33.3%）の企業が減少とし、DI△14.3（△5.6）ポイント、収益は44.6%（27.8%）の企業が減少とし、DI△37.5（△5.6）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、DI△32.1（△3.8）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、需要の停滞が24.6%、仕入単価の上昇が16.2%、人材の確保難が10.6%の順に多かった。

来期、売上は増加、収益は減益になるとしており、来期の業況予想のDIは△3.6（△21.2）ポイントとなっている。

V-1 宿泊業

前年同期に比べ、売上はDI△10.0（50.0）ポイント、収益はDI△30.0（58.3）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、DI△50.0（33.3）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、需要の停滞が23.1%、仕入単価の上昇、人件費以外の経費増加、IT化への対応がいずれも11.5%、売上数量の減少、人材の確保難、設備の狭小・老朽化がいずれも7.7%の順に多かった。

来期、売上、収益はともに増加・増益になるとしており、来期の業況予想のDIは40.0（0.0）ポイントとなっている。

V-2 飲食店

前年同期に比べ、売上はDI△36.4（10.0）ポイント、収益はDI△63.6（△10.0）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、DI△45.5（0.0）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が29.6%、需要の停滞、売上数量の減少、設備の狭小・老朽化がいずれも14.8%、人件費の増加が11.1%の順に多かった。

来期、売上は増加、収益は横ばいになるとしており、来期の業況予想のDIは18.2（△60.0）ポイントとなっている。

V-3 運輸業

前年同期に比べ、売上はD I $\Delta 6.7$ ($\Delta 21.4$) ポイント、収益はD I $\Delta 53.3$ ($\Delta 21.4$) ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、D I $\Delta 40.0$ ($\Delta 35.7$) ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、需要の停滞が28.6%、仕入単価の上昇が21.4%、人材の確保難が19.0%の順に多かった。

来期、売上は増加、収益は減益になるとしており、来期の業況予想のD Iは $\Delta 60.0$ ($\Delta 21.4$) ポイントとなっている。

V-4 情報関連サービス業

前年同期に比べ、売上はD I $\Delta 14.3$ ($\Delta 28.6$) ポイント、収益はD I $\Delta 28.6$ ($\Delta 28.6$) ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、D I $\Delta 14.3$ ($\Delta 14.3$) ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

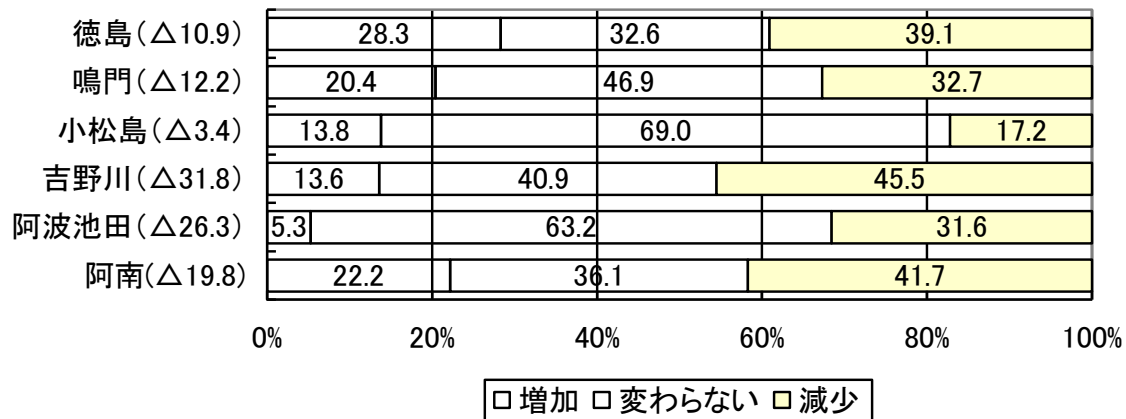
経営上の問題点は、需要の停滞が35.3%、ニーズ変化への対応が29.4%、人材の確保難が11.8%の順に多かった。

来期、売上、収益はともに減少・収益になるとしており、来期の業況予想のD Iは 0.0 (0.0) ポイントとなっている。

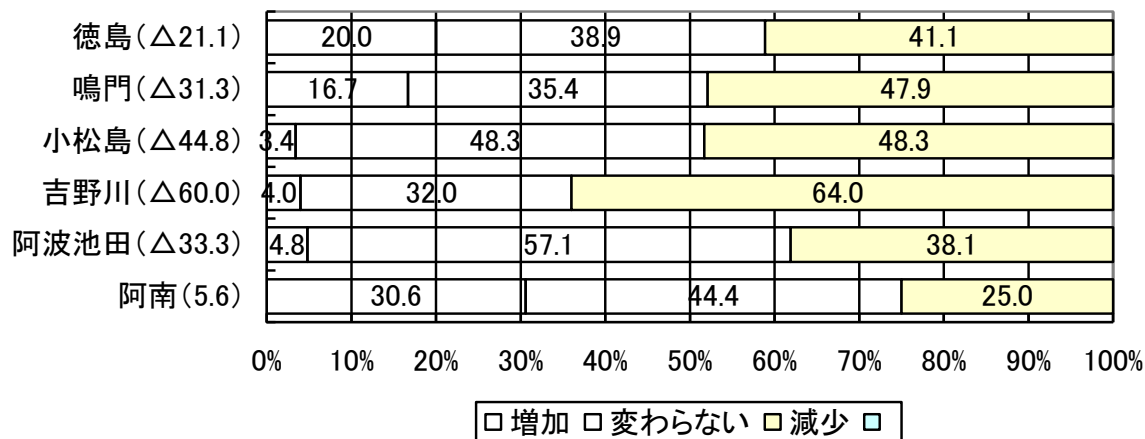
■. 地域別の動向

①売上動向

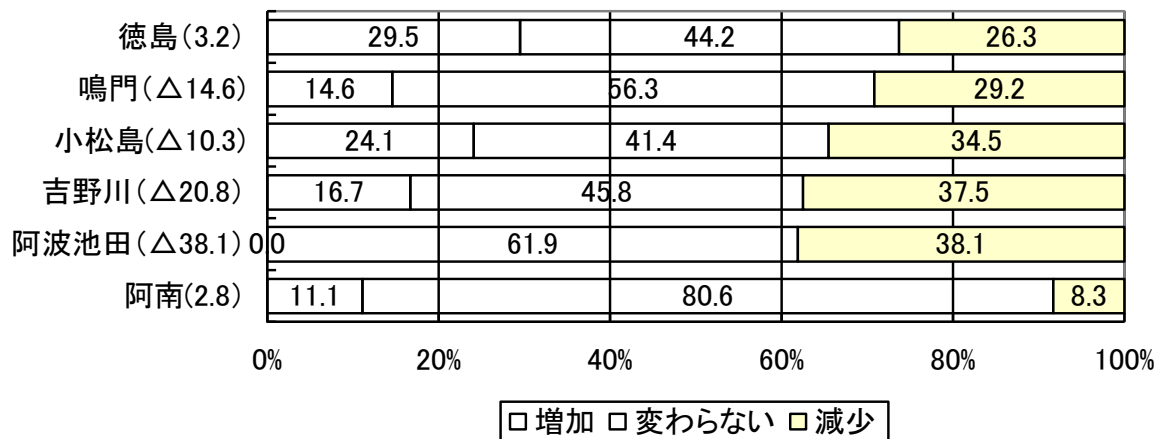
【前期の実績(前年同期比)】



【今期の実績(前年同期比)】

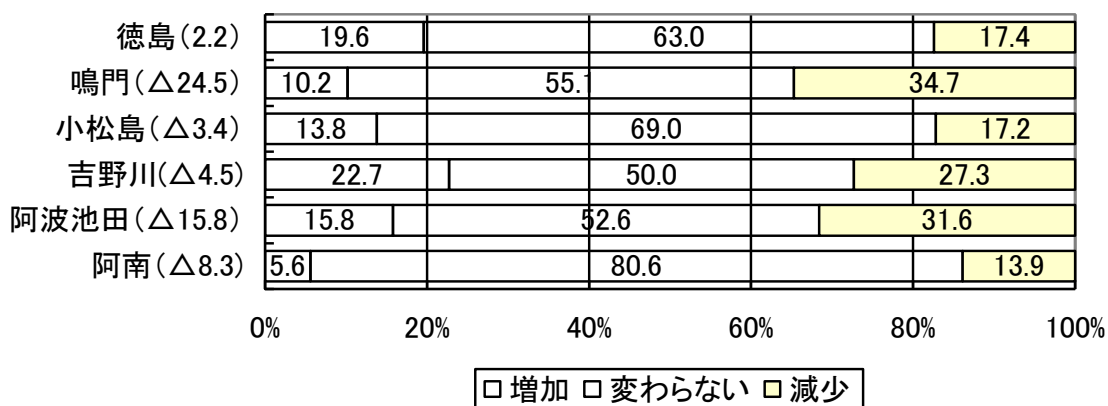


【来期の実績予想(今期比)】

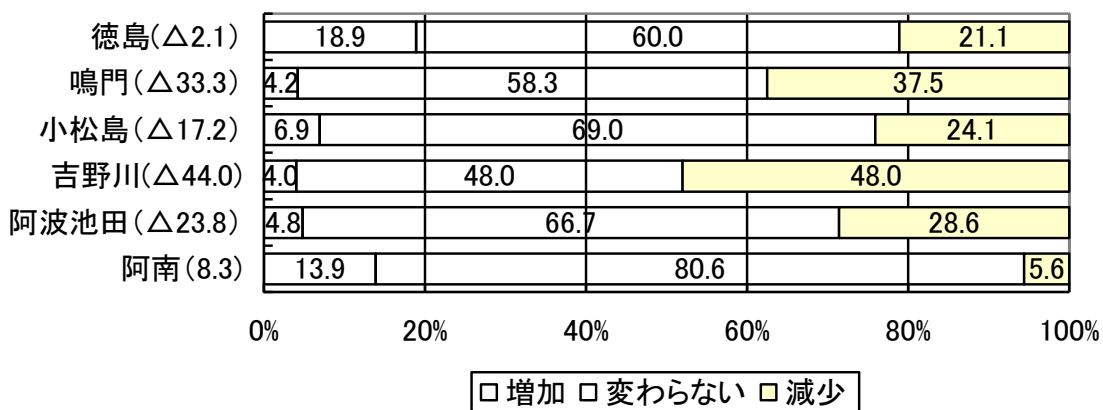


②売上単価の動向

【前期の実績(前年同期比)】

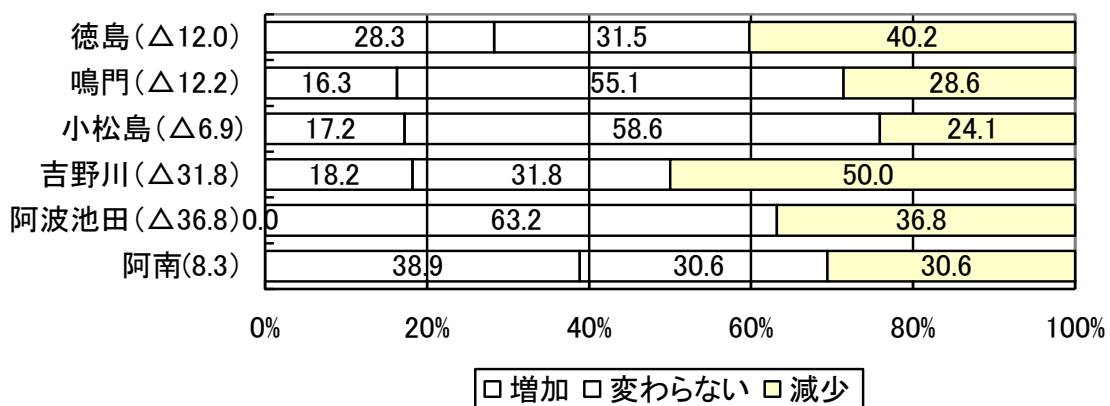


【今期の実績(前年同期比)】

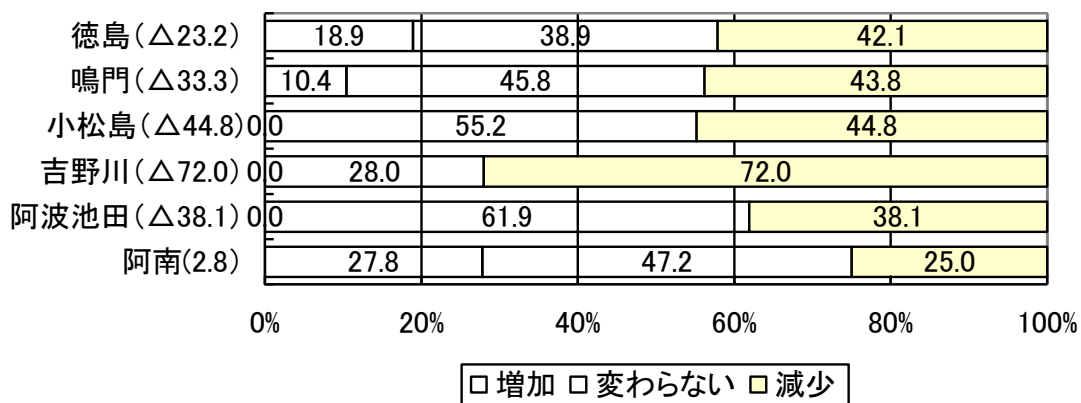


③売上数量の動向

【前期の実績(前年同期比)】

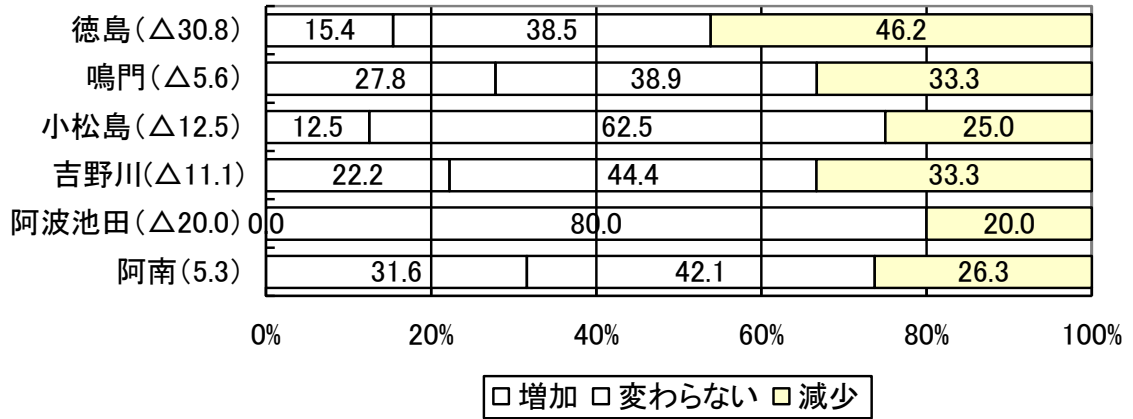


【今期の実績(前年同期比)】

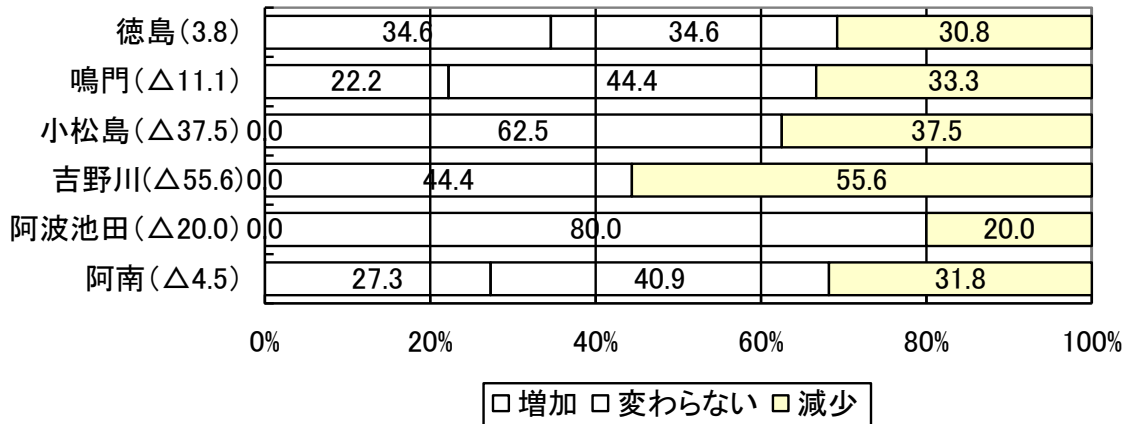


④受注の動向

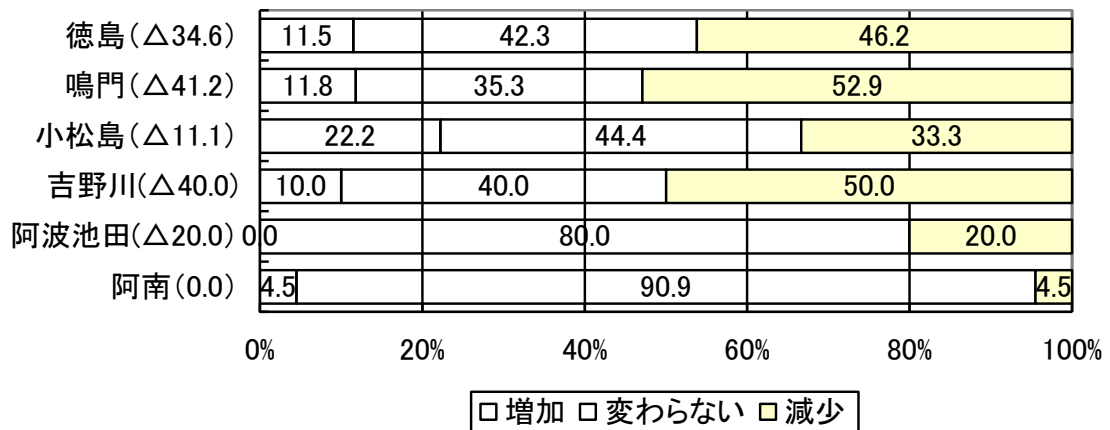
【前期の実績(前年同期比)】



【今期の実績(前年同期比)】

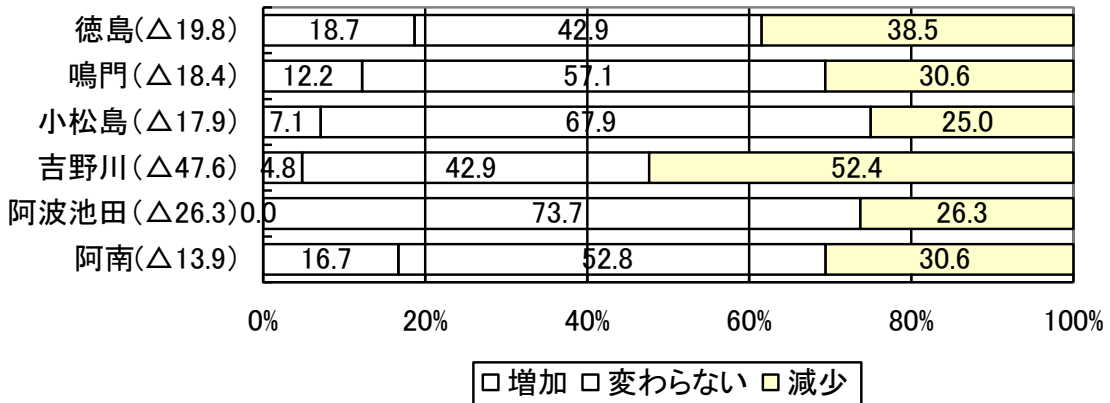


【来期の実績予想(今期比)】

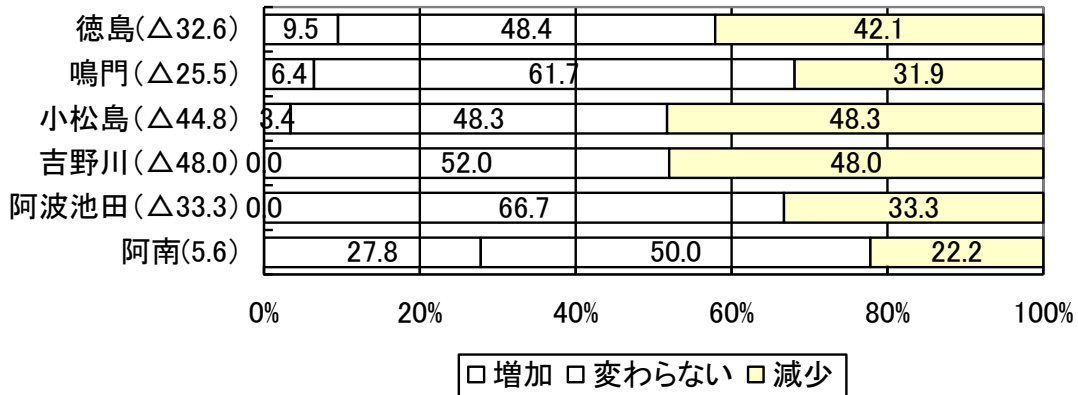


⑤収益の動向

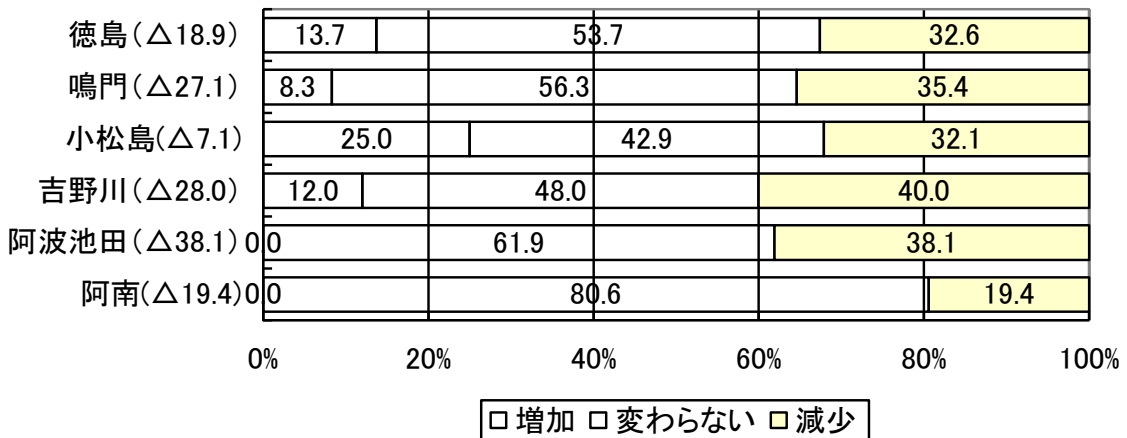
【前期の実績(前年同期比)】



【今期の実績(前年同期比)】



【来期の実績予想(今期比)】



⑥雇用の動向

前 期 の 実 績

	増加 (%)	変わらない (%)	減少 (%)	DI 値
徳 島	6.6	70.3	23.1	△16.5
鳴 門	4.1	91.8	4.1	0.0
小 松 島	7.1	92.9	0.0	7.1
吉 野 川	4.5	81.8	13.6	△9.1
阿波池田	0.0	100.0	0.0	0.0
阿 南	0.0	94.4	5.6	△5.6

今 期 の 実 績

	増加 (%)	変わらない (%)	減少 (%)	DI 値
徳 島	11.8	68.8	19.4	△7.5
鳴 門	2.1	85.4	12.5	△10.4
小 松 島	7.1	89.3	3.6	3.6
吉 野 川	12.0	84.0	4.0	8.0
阿波池田	0.0	85.7	14.3	△14.3
阿 南	5.6	86.1	8.3	△2.8

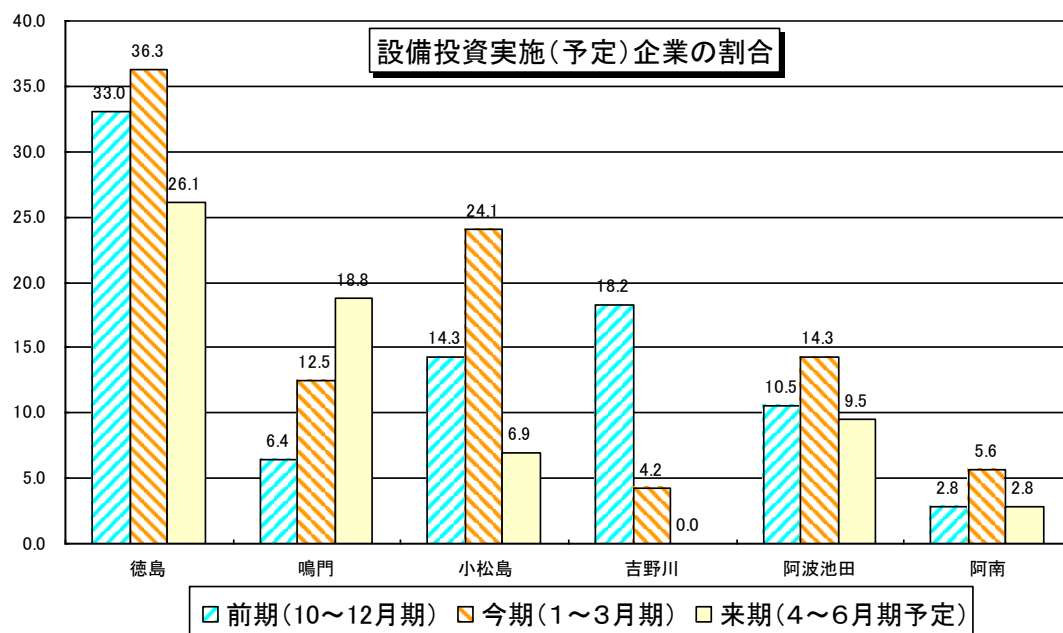
来 期 の 予 想

	増加 (%)	変わらない (%)	減少 (%)	DI 値
徳 島	17.2	76.3	6.5	10.8
鳴 門	6.3	93.8	0.0	6.3
小 松 島	3.6	96.4	0.0	3.6
吉 野 川	8.0	88.0	4.0	4.0
阿波池田	4.8	90.5	4.8	0.0
阿 南	11.1	86.1	2.8	8.3

⑦設備投資の動向

(%)

(1) 実施状況



(2) 実施内容 (今期実施企業中：複数回答)

今 期 の 実 績

(%)

項目 地域	土 地	建 物	車両・運搬具	情報通信 機 器 (パソコン等)	事務機器	機 械	福利厚生 施 設	そ の 他
徳 島	4.3	6.4	23.4	31.9	10.6	14.9	4.3	4.3
鳴 門	0.0	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1
小 松 島	0.0	37.5	0.0	12.5	12.5	25.0	0.0	12.5
吉 野 川	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
阿波池田	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7
阿 南	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

来 期 の 予 想

(%)

項目 地域	土 地	建 物	車両・運搬具	情報通信 機 器 (パソコン等)	事務機器	機 械	福利厚生 施 設	そ の 他
徳 島	5.7	5.7	20.0	22.9	8.6	25.7	5.7	5.7
鳴 門	8.3	25.0	8.3	16.7	8.3	25.0	8.3	0.0
小 松 島	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
吉 野 川	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
阿波池田	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0
阿 南	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑦設備投資の動向

(3) 実施金額

今 期 の 実 績 (%)

	50万円未満	50万円以上 100万円未満	100万円以上 500万円未満	500万円以上 1000万円未満	1000万円以上
徳 島	23.3	0.0	30.0	16.7	30.0
鳴 門	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
小 松 島	42.9	14.3	42.9	0.0	0.0
吉 野 川	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
阿波池田	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
阿 南	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0

⑧経営上の問題点 (複数回答)

(%)

	需要の停滞	仕入単価の上昇	在庫過剰	売上単価低下	売上数量減少	人件費増加	人件費以外経費増	IT化への対応	ニーズ変化への対応	資金調達難	人材確保難	同業者間の競争激化	大型店の参入	顧客の域外流出	流通形態の変化	代金回収の悪化	設備の狭小・老朽化	金利負担増加	その他	問題なし
徳 島	18.9	16.9	1.2	4.7	13.0	3.9	5.5	3.1	4.7	0.8	11.0	3.1	1.2	0.4	2.8	0.4	5.5	0.4	2.0	0.4
鳴 門	18.6	15.9	0.9	2.7	19.5	1.8	9.7	3.5	0.0	1.8	4.4	5.3	1.8	0.9	0.9	2.7	6.2	2.7	0.9	0.0
小 松 島	23.9	28.4	1.5	3.0	11.9	0.0	1.5	0.0	0.0	1.5	6.0	3.0	1.5	3.0	3.0	0.0	9.0	0.0	1.5	1.5
吉 野 川	17.7	22.6	1.6	6.5	8.1	1.6	8.1	1.6	1.6	0.0	6.5	1.6	3.2	1.6	1.6	1.6	9.7	0.0	1.6	3.2
阿波池田	20.7	10.3	0.0	8.6	17.2	0.0	1.7	0.0	5.2	5.2	10.3	10.3	3.4	1.7	1.7	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0
阿 南	18.4	26.2	1.0	7.8	1.9	1.0	10.7	1.0	2.9	1.0	14.6	1.9	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	10.7	0.0

徳島県下業種別景況天気図

(令和4年1~3月)

徳島県商工会議所連合会

業種別	売上高		収益		資金繰り		業況
	1~3月		1~3月		1~3月		
	前年同期比	前期比	前年同期比	4~6月 予想	前年同期比	4~6月 予想	
全業種							
建設業							
製造業							
卸売業							
小売業							
サービス業							

DI 値の範囲	+50 ~	+25 ~ +49	0 ~ +24	-25 ~ -1	~-26
状況	特に好調	好調	普通	不振	特に不振
天気マーク					

※ DI とは、増加(好転)企業から減少(悪化)企業を差し引いた値。

徳島県下地域別景況天気図

(令和4年1~3月)

徳島県商工会議所連合会

地域別	売上高		収益		資金繰り		業況
	1~3月		1~3月	4~6月	1~3月	4~6月	4~6月
	前年同期比	前期比	前年同期比	予想	前年同期比	予想	予想
徳島							
鳴門							
小松島							
吉野川							
阿波池田							
阿南							

DI 値の範囲	+50 ~	+25 ~ +49	0 ~ +24	-25 ~ -1	~-26
状況	特に好調	好調	普通	不振	特に不振
天気マーク					

※ DI とは、増加(好転)企業から減少(悪化)企業を差し引いた値。

徳島県下業種別業況予想

(令和4年4～6月見通し)
徳島県商工会議所連合会

地域	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
徳島					
鳴門					
小松島					
吉野川					
阿波池田					
阿南					

DI 値の範囲	+50 ～	+25 ～ +49	0 ～ +24	-25 ～ -1	～ -26
状況	特に好調	好調	普通	不振	特に不振
天気マーク					

※ DI とは、増加(好転)企業から減少(悪化)企業を差し引いた値。

商工会議所管内業種別景況天気図 (令和4年1~3月) 徳島商工会議所

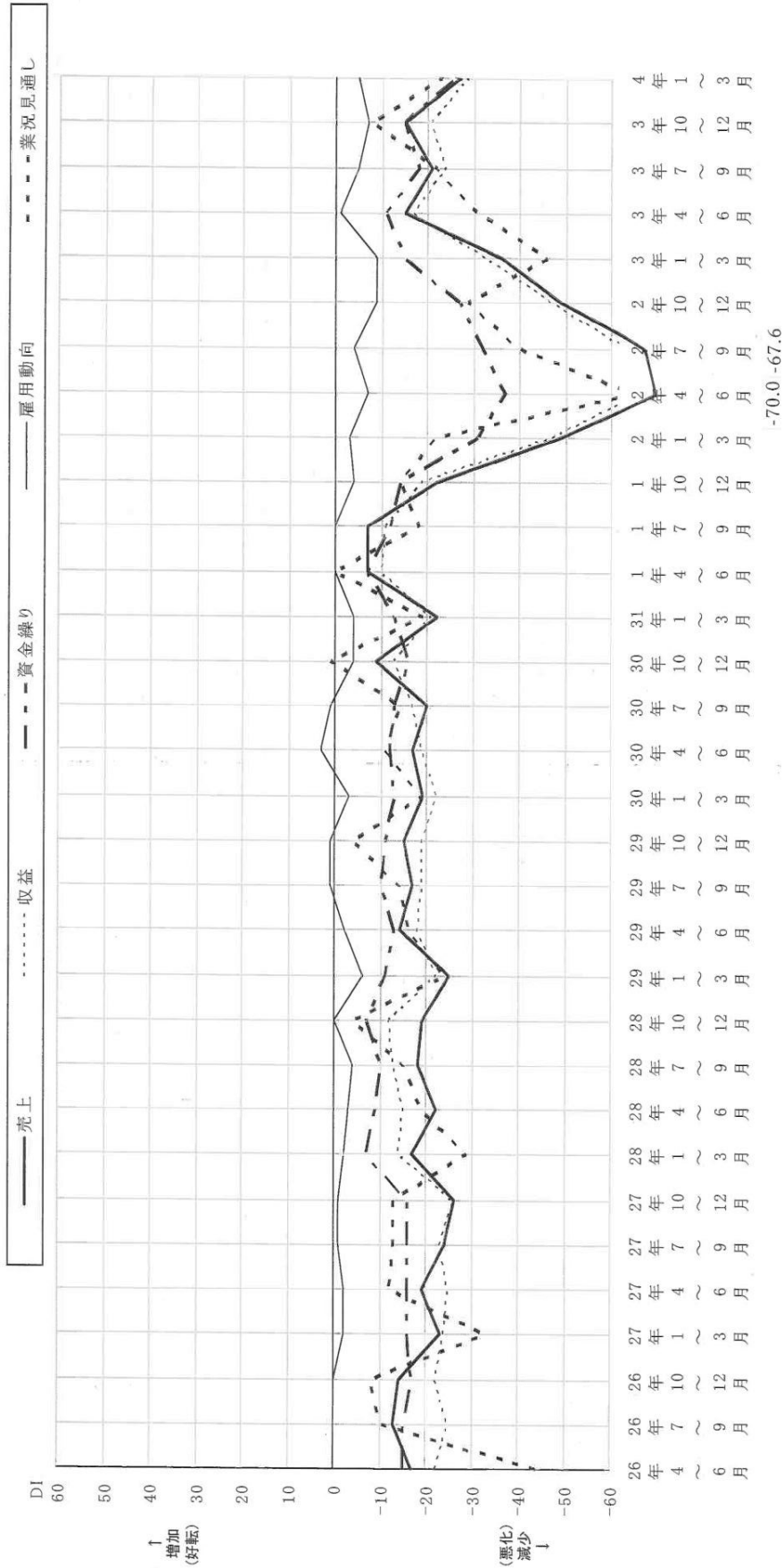
業種別	売上高		収益		資金繰り		業況
	1~3月		1~3月		1~3月		
	前年同期比	前期比	前年同期比	4~6月 予想	前年同期比	4~6月 予想	
全業種							
建設業							
製造業							
卸売業							
小売業							
サービス業							

DI 値の範囲	+50 ~	+25 ~ +49	0 ~ +24	-25 ~ -1	~-26
状況	特に好調	好調	普通	不振	特に不振
天気マーク					

※ DI とは、増加(好転)企業から減少(悪化)企業を差し引いた値。

徳島県商工会議所連合会景況調査 主要項目の動向(前年同期比)

令和4年1~3月現在



設問 自由回答

(貴社が属する業況の問題点、売れ筋商品、消費者動向の傾向など何でも結構です。)

◇職別・設備工事業◇

- ・部品、商品の調達に遅れが生じてきている。

◇食料品製造業◇

- ・容器、包装資材などの値上げ通告があり、2、3か月後には値上げの影響が出てくるだろう。

◇繊維工業◇

- ・工賃が上がらない。

◇木材・木製品製造業◇

- ・ロシアカラ松、赤松が入荷しないことにより、国産材の価格高騰や不足が生じている。

◇繊維・衣服等卸売業◇

- ・コロナでイベントなどが中止となったことが売上に影響している。

◇機械器具卸売業◇

- ・仕入商品単価がほとんど値上がりした。
- ・仕入単価の上昇と資材不足がコスト増加につながっている。

◇その他卸売業◇

- ・物価の高騰で先売りが多く、6月頃から売上が激減する可能性がある。

◇織物・衣服・身の回り品小売業◇

- ・コロナの影響で、売れる商品が変化してきたように思う。
- ・コロナの影響で先行きが見えない。

◇飲食料品小売業◇

- ・積極的な営業の結果、法人のお客様からの受注が増えてきた。

◇宿泊業◇

- ・コロナが収まらないと集客は見込めない。どこまで経営を維持できるのか不安だ。
- ・諸外国のようにコロナ規制を解除していただけない限り、業績回復は困難。

◇飲食店◇

- ・先の予測ができないことが1番つらい。
- ・人手不足が深刻な問題。
- ・原材料費がとても高くなっている。

◇運輸業◇

- ・コロナの感染者数があまり減少せず、飲料等、自動車部品の売れ行きが悪いため、売上が回復しない。
- ・売上が伸びないにも関わらず、急な原価の上昇でバランスが取れない。対策を考えている。

◇情報関連サービス業◇

- ・個別での問い合わせではパソコン操作に関することが多い。日商PC検定を受験する方が多い。

設問1

貴社の事業承継の状況について教えてください。

- 1.すでに後継者または候補が決まっている(親族・役員・従業員など)
 2.いずれは必要だと思うがまだ決まっていない 3.事業承継を考えていない 4.わからない(未定)

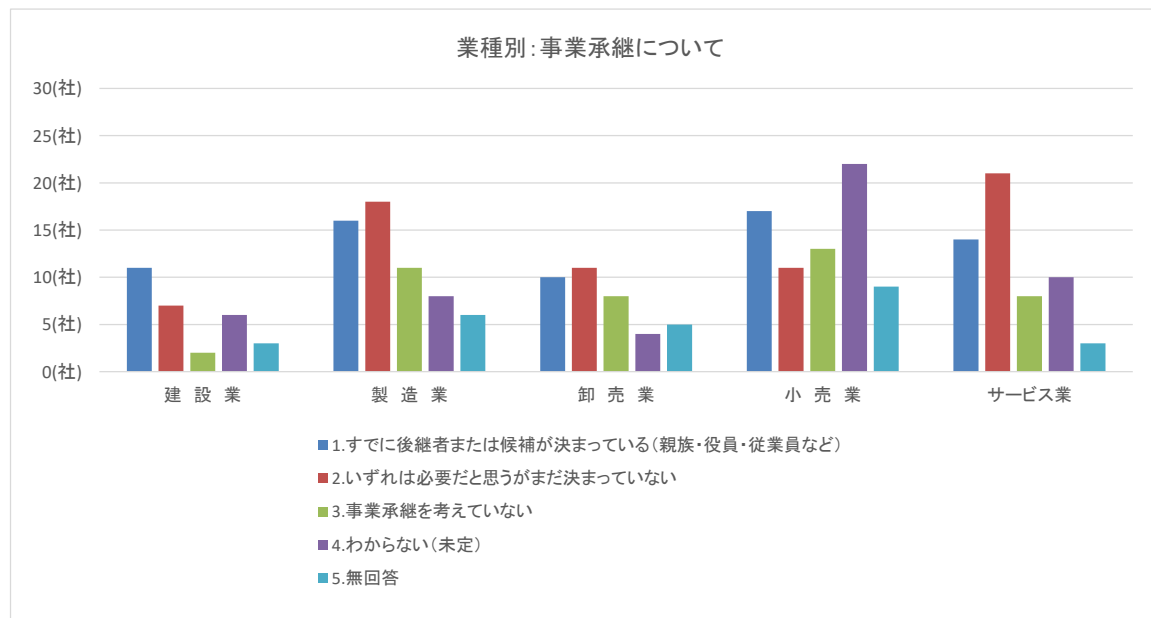
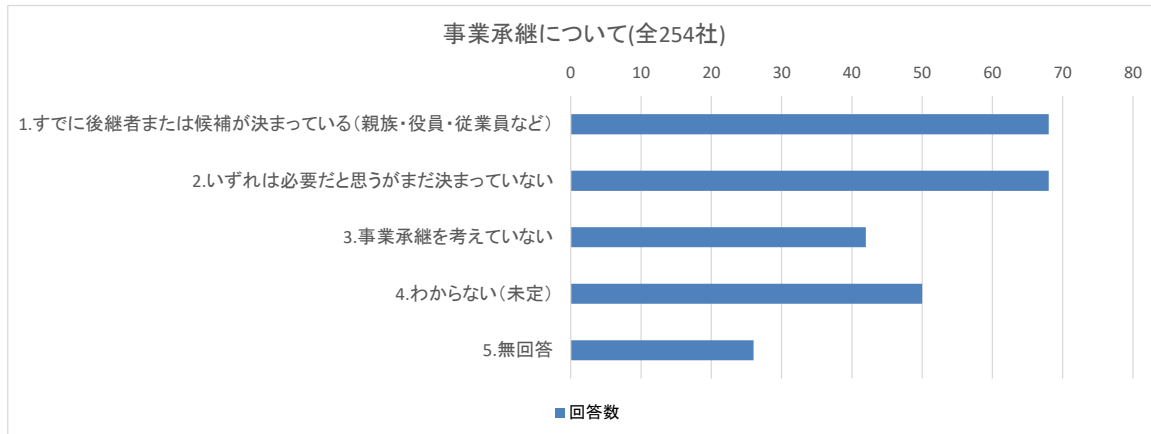
◇回答◇

【産業別】

回答社数:254社

- 1.すでに後継者または候補が決まっている(親族・役員・従業員など)
 2.いずれは必要だと思うがまだ決まっていない
 3.事業承継を考えていない
 4.わからない(未定)
 5.無回答

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計(社)	%
1	11	16	10	17	14	68	26.8
2	7	18	11	11	21	68	26.8
3	2	11	8	13	8	42	16.5
4	6	8	4	22	10	50	19.7
5	3	6	5	9	3	26	10.2



設問2

設問1において、2.いずれは必要だと思うがまだ決まっていないと回答した方にお伺いします。貴社の事業承継について相談できる相手はいますか。

- 1.いる 2.いない

◇回答◇

- 1.いる
2.いない
3.無回答

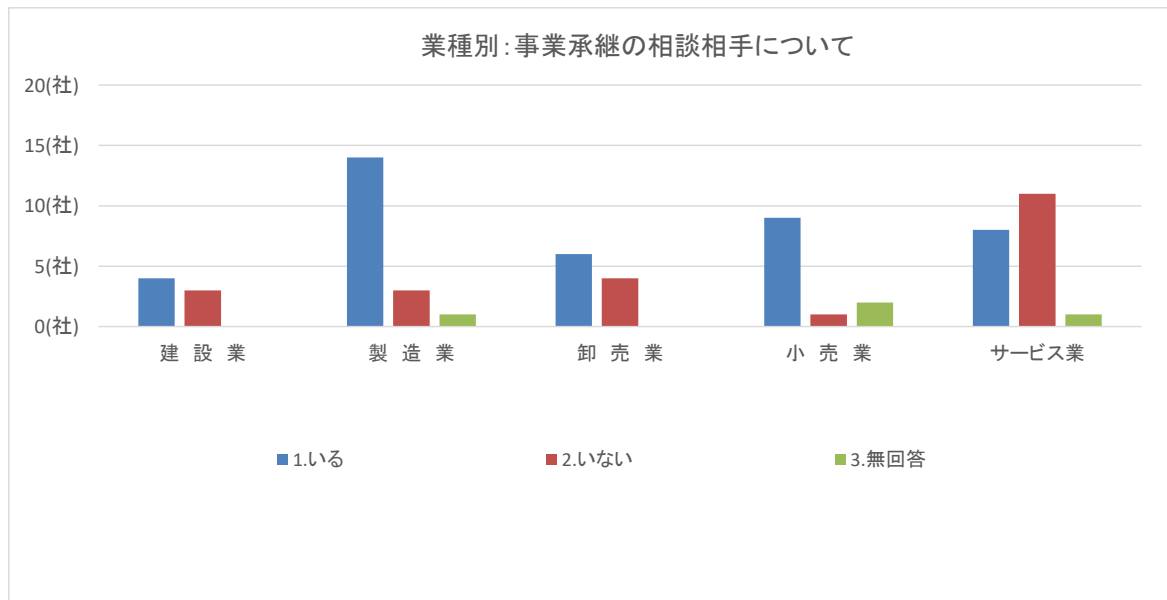
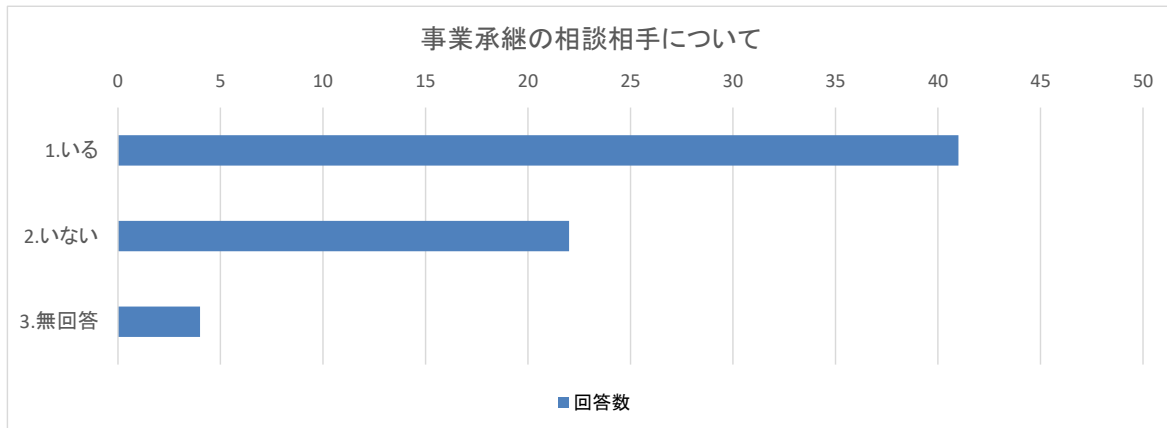
【産業別】

回答社数:68社

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計(社)
1	4	14	6	9	8	41
2	3	3	4	1	11	22
3	0	1	0	2	1	4

%
60.3
32.4
5.9

※設問1において、回答2を選択した事業者のみを対象とした。



設問2-1
 (設問2において、1.いと回答した方へ)それは誰ですか。(複数回答可)

- a.商工会議所の職員 b.金融機関 c.公的機関 d.顧問税理士など e.その他

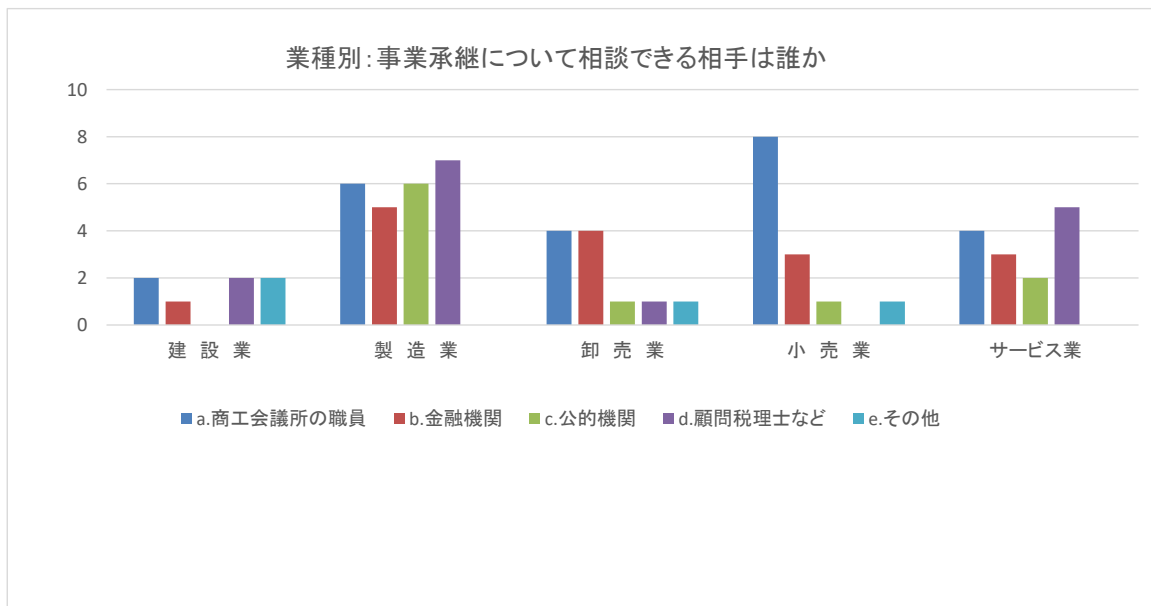
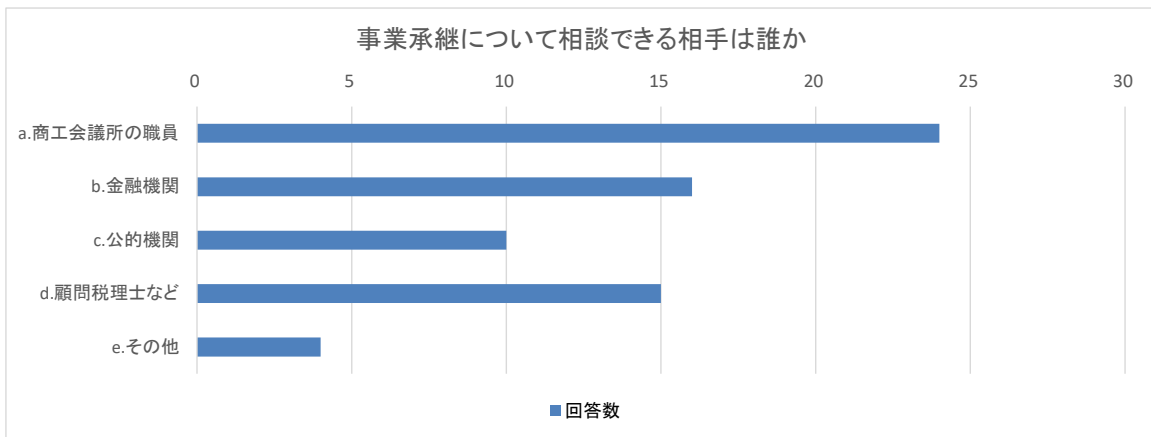
◇回答◇

- a.商工会議所の職員
 b.金融機関
 c.公的機関
 d.顧問税理士など
 e.その他
 f.無回答

【産業別】 回答件数:69件

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計(件)
a	2	6	4	8	4	24
b	1	5	4	3	3	16
c	0	6	1	1	2	10
d	2	7	1	0	5	15
e	2	0	1	1	0	4
f	0	0	0	0	0	0

※設問2において、回答1を選択した事業者のみを対象とした。



設問3

設問1において、3.事業承継を考えていないと回答した方にお伺いします。
その理由についてお聞かせください。(複数回答可)

- 1.後継者がいない(親族・役員・従業員など) 2.経営状況が良くないので継がせられない
3.事業承継する意思がない(廃業を検討しているなど) 4.その他

◇回答◇

【産業別】

回答件数:53件

- 1.後継者がいない(親族・役員・従業員など)
2.経営状況が良くないので継がせられない
3.事業承継する意思がない
4.その他
5.無回答

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計(件)
1	1	3	3	3	3	13
2	0	6	1	6	3	16
3	1	1	4	5	2	13
4	1	6	2	1	1	11
5	0	0	0	0	0	0

※設問1において、回答3を選択した事業者のみを対象とした。

